

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 4 年 7 月 1 日

事業所名ステップあつた

保護者等数(児童数)

4件 回収数

割合100%

	チェック項目	保護者等数(児童数)				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	0	0	1	・明るい感じが良い	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1	0	0	・保育士、作業療法士がいるのが良い	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1	0	1		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	0	0	学習、遊び空間が分かれているが良い。	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	1	0	2		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	0	0		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4					
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	2	0	1		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4					

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4				
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	1			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	1			
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか					
	㉓	事業所の支援に満足しているか					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 4年 5月 13日

公表: 令和 4年 7月 1日

事業所名: ステップサポートあつた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・支援の場を学習、活動の空間に分けている。	・スペースに限りはありますが、より構造化の工夫を進めてまいります。
	2	職員の配置数は適切である	○		・適切です。	・継続します。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・ロッカーやついたてを使用して活動スペースを区切っています。	・スペースに限りはありますが、より構造化の工夫を進めてまいります。・落ち着いて過ごしたり、活動に集中したりできるように、活動している利用者、周りの利用者に視覚手段を活用して働きかけ、環境を整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日清掃を行い、朝、帰りに施設内の消毒を行っています。送迎車両は送迎のたびに消毒しています。おもちゃや本も使用後に消毒しています。・空気清浄機・加湿器を使用し、定期的に換気をして、清潔で快適な環境づくりをしています。	・支援で使う備品は衛生管理の側面と支援内容のトレンドの側面から、定期的によりリニューアルしてまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝礼、終礼を実施し、その都度改善を実施しています。	・継続します。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年実施しています。	・保護者等の意向等を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施し、ホームページ及び名古屋子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開しています。	・継続します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・現在準備中です。	・導入に向けて調整中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社協の研修に参加しています。また、グループ店舗と合同で月一回の勉強会を行っています。	・継続します。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・支援会議を行い作成しています。	・継続します。

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを用いて状況を把握しています。	・継続します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・具体的な支援内容を設定しています。	・具体的な支援内容について、分かりやすくお伝えいたします。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・毎日記入する「取組表」に個別の目標を記入し、活動後に振り返りを行うことで計画に沿った支援ができるようにしています。	・支援についての研修を行い支援方法を確認するとともに、日頃から職員間の意見交流を活発にし、問題があれば速やかに改善できるようにします。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ会議で決定しています。	・継続します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		平日は月ごとにテーマを決めて工作とそこで作った物を使ったSSTや学習、運動、音楽療法などを行っています。休日は調理・工作・外出などをバランスを考えて設定しています。	・利用者様や保護者様からも好評を得ているので、更に良い活動が行えるように工夫していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		朝礼で利用者の情報を共有し、どの利用者がどの活動をするかを具体的に確認しています。	・継続します。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、朝礼でその日の活動内容を確認し、子どもの情報を共有しています。	・継続します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、終礼で支援の振り返りを行い、記録を残しています。	・改善や問題に対してフィードバックされたことを、次回の支援から行動に移せるようより深く認識してもらうための現場づくりに努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、終礼で支援の振り返りを行い、記録を残しています。その際、一人ひとりの様子を確認しています。	・継続します。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		利用者の今後支援方針につながる大切なポイントだと認識しているため、可能な限り頻度は高く行っていくように努めています。	・継続します。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。	・継続します。	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	・行っていません	・今後行えるように情報を収集し、準備を進めます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	・医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	・医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	・特に移行支援としては行っていませんが、相談員とのやり取りやサービス担当者会議で情報交換を行っています。	・各機関との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	・特に移行支援としては行っていませんが、先生との間で情報交換をおこなっています。	・学校との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	・行っていません。	・今後進めていけるように情報を集めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	・保育所等と併用されている方が多いため、行っていません。	・情報を集めて検討いたします。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	・現状積極参加ができておりません。	・積極的に参加していきたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	・連絡帳や毎日の送迎時にお伝えしています。必要に応じて電話等でも連絡を取りついています。	・継続します。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	・プログラムとしては行っていませんが、個別の相談に応じさせていただいています。	・検討いたします。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	・契約時に説明しています。	・継続します。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・同意を得ています。	・継続します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合には速やかに対応し、職員間で情報共有をしています。	・継続します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・行っていません。	・ご要望が多ければ検討したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・個別の相談があった場合には速やかに対応させていただいております。	・継続します。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNS(Facebook、Instagram、LINEタイムライン、twitter)において、活動の様子を週2回発信しています。 ・「ステップだより」を発行し、活動の様子をお知らせしています。	・より多くの方に見ていただけるように周知します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に個人情報の取り扱いについて職員間で確認します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・構造化や、情報の図示などを行っています。	・配慮事項を職員間で共有し、連絡ミスがないようにいたします。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・行っていません。	・どのような形で行えるか、今後検討いたします。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・定期的に作成し、訓練も実施しています。	・定期的に保護者にマニュアルについて周知するようにいたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月防災の日を設定し、防災についての学習、防災食の調理、施設周辺を散歩して防災マップ作りなどに取り組んでいます。	・毎月、防災の取組を行う日を設定しています。全員できるように、簡単な訓練を行うことも検討しています。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・年度初めに保護者から情報を得ています。日頃の様子については、連絡帳等で保護者から情報を得ています。坐薬保管が必要な方には医師の指示書をいただいています。	・継続します。	

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・保護者からアレルギーの情報を得ています。その際、医師からどのように言われているかも確認しています。	・必要があれば医師の指示書をいただくようにします。 ・職員間の情報共有をより進めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・行っています。	・継続します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待になる行為について職員間で確認しています。	・定期的に研修を行い、意識の向上を図ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束について職員間では確認しています。現在該当する利用者はいません。	・必要に応じて保護者への事前説明をしっかりと行い、支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。